

きらりとてくまぐ

第27号



多様な職場シリーズ②

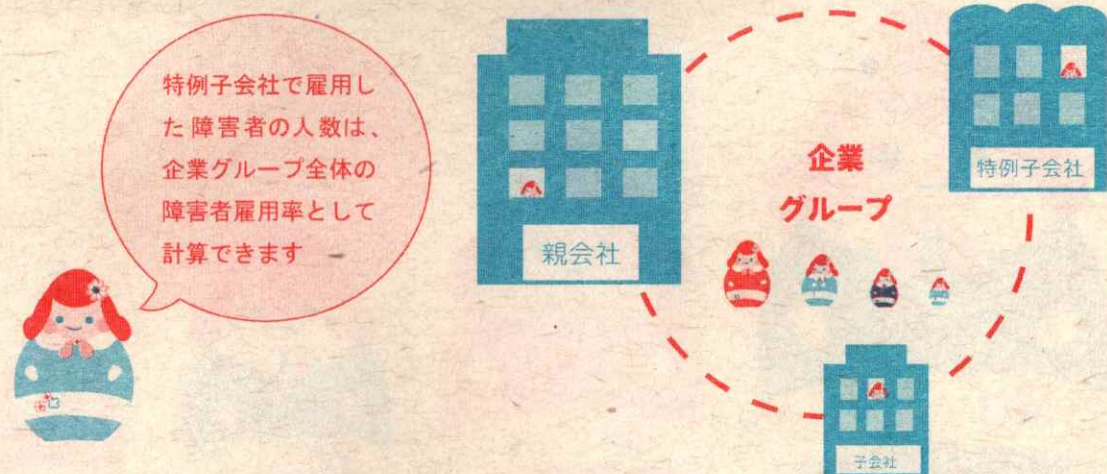
特集「特例子会社」

多様な職場シリーズの第2回目、今回のきらりとてくてくは「特例子会社」について取り上げたいと思います。特例子会社って聞かれたことがありますか？

●特例子会社制度

障害者雇用促進法において、障害者を雇用することは事業主に義務づけられています。通常では親会社が障害者を雇用しますが、任せる仕事を見つけることや労働環境の調整などが難しい場合などは、事業主が障害者に配慮をした子会社を設立し（一定の要件を満たす必要はありますが）特例として、その子会社に雇用されている障害者が、親会社に雇用されているものとみなされる制度があります。それを「特例子会社制度」といいます。

特例子会社制度



●特例子会社の現状

令和3年6月1日時点では日本全国に562の特例子会社があります。都道府県別では最多が東京都で176社。大阪府は48社あります。各都道府県に最低1社はありますが、地域によって会社数には大きな差があります。

仕事内容 親会社やグループ企業をサポートする業務をおこなっているところが多く見られます。例えば、オフィスや工場などの清掃、郵便物の仕分け、名刺印刷やコピーなどの事務補助やサポートです。その他、軽作業などの業務に分類される仕事が多くなります。

業種 製造業などでは、一部工場の組み立てや検品などをおこなっているところもあります。そのため業種で言うとサービス業や製造業が多くなります。

●特例子会社の実際（インタビュー）

特例子会社で働いている方にインタビューをしました。

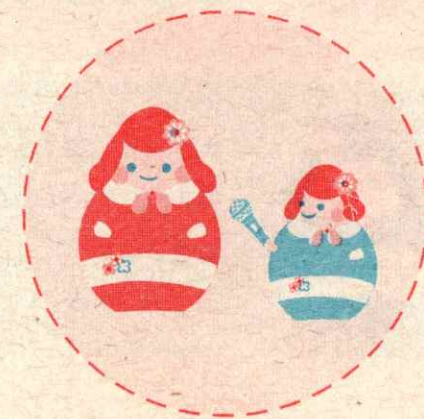
「この会社でしか働いたことがないため、他の会社との比較にはならないかと思うが」と前置きしつつ話をしてくれました。

（そのため下記の内容は、すべての会社に該当するわけではなくあくまで一例となっていることをご了承ください）

Q

仕事内容は？

最初は総務（消耗品の管理・発注など）人事関連の仕事です。



Q

自分の会社で気に入っていることは？

無理はしなくていいところ。例えば残業はしなくていいと言われています。

・定期的に面談の機会が設定されています。何か問題が発生したときは、話し合いの頻度を高くして対応してもらっています。

・夏季休暇や、年末年始の休暇などを会社外の方に伝えると「多い」と言われることがあります。福利厚生は整っていると思います。

Q

大変だったことは？

社内でグループを作り、取り組む仕事が多くあります。会社の特性上、色々な障害の人がいます。お互いに「なんらかの障害がある」とは分かっていますが、どんなことが苦手である、という詳細なアナウンスはないため、お互いに探りながら取り組んでいます。

（*おそらく個人情報の観点からだと思えます・編集部・注釈）

親会社の仕事だけではなく、その他の新しい仕事も入ってきており、その対応に追われることもあります。雰囲気ギリギリすることもあります。

特例子会社と一般の会社

働く上でのメリット、デメリット



- ・バリアフリーや、音声を読み上げる機械があるなど、設備が充実しているところも多い。
- ・支援員が配置されており、相談がしやすい仕組みがある。
- ・大手企業が親会社であるところが多いため、雇用条件・福利厚生が良い。
- ・ネームバリューは実感しやすい。



- ・数があまり多くない。
- ・都市部に集中している（地方では少なく、アクセスしにくい）。
- ・お互いに気づかう、配慮しあうことなど、当事者同士のコミュニケーションも必要。

今回は特例子会社についてみてきました。

「特例子会社」とひとまとめにしていますが、会社によって歴史も方針も異なりますし、雰囲気も業務内容も様々です。特例子会社には見学や実習などを受け入れているところも多いため、興味がある方は応募前に検討してみてもいかがでしょうか。

今後の皆様の就職活動の参考になれば幸いです。



アンダンテ就労ステーションでは、LINEでの相談を行っています。病気や障害をお持ちの方や自宅からなかなか出づらの方などを対象に、働くことについての相談を無料で行ってあります。興味のある方はLINEより「友だち追加」をお願いします。

お仕事相談



コモドチャット

きらりとてくてく



バックナンバー



次号予告

次号は「障害者雇用代行ビジネス」をテーマにする予定です。